

同志社英文学会
2013年度年次大会および総会

日時：10月27日（日）12:30～17:10

場所：同志社大学今出川校地 明德館1番教室・ラウンジ

受付：12:00～（明德館1番教室前）

年次大会（明德館1番教室）

開会の辞（12:30～12:40）

会長 林 以知郎

研究発表（12:40～13:15）

メアリー・シェリーの『ヴァルパーガ』における男性的原理と女性的原理

同志社大学大学院文学研究科博士後期課程2年 岡 隼人

ワークショップ（13:20～14:20）

ホンヤクなにするものぞ —実践から見た文芸翻訳の世界—

同志社大学文学部准教授 藤井 光

----- 休憩(40分) 明德館ラウンジにて -----

特別講演（15:00～16:30）

司会 赤松信彦

バイリンガルの子どもの学ぶ：言語獲得・発達研究の魅力

関西学院大学国際学部教授・言語コミュニケーション文化研究科教授 山本雅代

総会（16:30～17:10）（明德館1番教室）

司会 秋篠憲一

諸報告

閉会の辞

大会準備委員長 田中貴子

懇親会（18:00-20:00）

司会 石塚則子

会場：SECOND HOUSE will 寒梅館7階（京都市営地下鉄今出川駅2番出口）

Tel. 075-251-0200

会費：非学正会員 6,000円 学生会員 4,000円

特別講演者紹介—山本雅代（やまもと まさよ）

関西学院大学国際学部教授、言語コミュニケーション文化研究科教授。日本のバイリンガリズム、バイリンガル教育の第一人者。バイリンガリズムの中でも特に、第一言語としてのバイリンガリズムを専門とし、2つの言語を同時に習得する環境にある「同時バイリンガル」の言語獲得・発達及び同時バイリンガルの子どもや家庭を取り囲む社会のありようについて心理言語学、社会言語学、言語学等の立場から研究。数々の著作、学会発表や講演等の活発な研究活動とともに、「第1言語としてのバイリンガリズム(BiL1)研究会」を立ち上げ、若手研究者の育成にも尽力、おもな著作に『バイリンガル』(1991、大修館書店)、『バイリンガルはどのようにして言語を習得するのか』(1996、明石書店)、『日本のバイリンガル教育』(2000、明石書店)、その他学術論文多数。